

平成29年度関東倶楽部対抗群馬第2会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 16倶楽部・128名)

期日：5月25日(木)

場所：伊香保ゴルフ倶楽部 音羽・吾妻コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(音羽コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	小堀 勝美	鳳凰	杉原 宏壮	伊香保GC	武井 茂幸	赤城国際	清田 貴夫	赤城
2	7:39	高橋 淳	ヴィレッジ東軽井沢	森村 貞夫	白水	荒川 信彦	メイレイクヒルズ	石原 博史	下秋間
3	7:48	狩野 又男	伊香保国際	櫻井 伸一	草津	桐生 勝	関越ハイランド	菊田 芳秋	高山
4	7:57	黒沢 三郎	上武	横手 昇	ノーザン赤城	高田 公夫	甘楽	金子 憲三	緑野
5	8:06	姫野 千早	メイレイクヒルズ	関口 茂	赤城国際	長岡 均	ヴィレッジ東軽井沢	石川 俊彦	鳳凰
6	8:15	篠原 寿	伊香保国際	青木 忠雄	関越ハイランド	萩原 秀男	上武	堀口 孝利	甘楽
7	8:24	佃 一生	伊香保GC	千明 直一	赤城	立石 眞一	白水	安田 直義	下秋間
8	8:33	大和田 康夫	草津	富田 聖一	高山	須藤 和義	ノーザン赤城	田村 仁	緑野
9	8:42	小池 新一	鳳凰	斉藤 康弘	赤城	井上 輝雄	メイレイクヒルズ	小藤 昭次	草津
10	8:51	田島 英美	上武	井上 雅裕	緑野	伊藤 誠二	伊香保GC	清水 清	ヴィレッジ東軽井沢
11	9:00	松田 敏廣	下秋間	並木 孝之	関越ハイランド	富澤 森幸	ノーザン赤城	高山 祐一	赤城国際
12	9:09	本多 八男	白水	杉山 茂	伊香保国際	諸田 右千人	高山	丸山 博	甘楽
13	9:18	大塚 進	ヴィレッジ東軽井沢	高橋 章平	鳳凰	平方 彰	伊香保国際	伊澤 基一	上武
14	9:27	丸山 敏夫	伊香保GC	村上 梅春	白水	滝沢 信夫	草津	中島 俊幸	ノーザン赤城
15	9:36	斉藤 順一	赤城国際	根岸 茂	メイレイクヒルズ	志賀 正信	関越ハイランド	池田 稔	甘楽
16	9:45	星野 朗	赤城	渡辺 武	下秋間	斉藤 義春	高山	園部 恒夫	緑野

10番(吾妻コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
17	7:30	松澤 義治	鳳凰	原澤 文雄	白水	永井 秀明	関越ハイランド	菅野 裕行	緑野
18	7:39	志村 和彦	伊香保GC	大瀧 初明	メイレイクヒルズ	諸田 徳寿	高山	関 徹也	赤城国際
19	7:48	濱本 行記	下秋間	伊藤 栄輔	上武	白石 哲也	赤城	井草 洋一	伊香保国際
20	7:57	村島 智	ノーザン赤城	木村 忠雄	ヴィレッジ東軽井沢	滝沢 信也	草津	松澤 寿一	甘楽
21	8:06	小野 貴弘	メイレイクヒルズ	藤田 一恵	鳳凰	小俣 行秀	上武	藤井 隆之	伊香保GC
22	8:15	後閑 洋一	下秋間	太田 錠児	ノーザン赤城	橋爪 義典	赤城国際	有賀 正起	伊香保国際
23	8:24	書上 正生	甘楽	飯塚 均	赤城	関 英将	草津	長塩 和生	緑野
24	8:33	高野 政人	高山	須藤 正樹	関越ハイランド	細野 晃詳	白水	佐藤 孝行	ヴィレッジ東軽井沢
25	8:42	臼田 圭一	甘楽	早矢仕 秀也	下秋間	野田 正一朗	鳳凰	齋藤 誠	伊香保GC
26	8:51	梅山 明久	伊香保国際	今井 和昌	緑野	山田 裕之	赤城国際	中澤 文行	草津
27	9:00	都丸 光二	赤城	田村 康成	関越ハイランド	大河原 光一	ヴィレッジ東軽井沢	藤見 好和	高山
28	9:09	池島 邦和	白水	野崎 光則	上武	鈴木 聡志	メイレイクヒルズ	堀口 松幸	ノーザン赤城
29	9:18	榎並 雪彦	草津	篠原 智	伊香保国際	木村 正伸	伊香保GC	越塚 功	鳳凰
30	9:27	石井 勇人	赤城国際	田村 英秋	関越ハイランド	津田 賢一	赤城	谷 直樹	高山
31	9:36	池田 武史	ヴィレッジ東軽井沢	宇野澤 孝次	上武	高松 茂樹	白水	高橋 邦夫	ノーザン赤城
32	9:45	朝田 高志	メイレイクヒルズ	大竹 真史	甘楽	中島 栄治	下秋間	松原 孝行	緑野

競技委員長 嶋田憲人

平成 29 年度 関東倶楽部対抗群馬第 2 会場予選競技

開催日 : 5 月 25 日(木)

開催コース : 伊香保ゴルフ倶楽部 音羽・吾妻コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。
 - パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
 - クローズド(Closed)の標示のある予備グリーン(カラーを含む)はプレー禁止の修理地とする。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
 - 排水溝
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - 黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
- コースと不可分の部分
 - 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。
 - ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
- ホールとホール間の白杭
2 番ホール左側、3 番ホール左側、3 番と 5 番ホールの間、10 番ホール右側、14 番ホール左側、15 番ホールグリーン奥、17 番ホール両側及び 18 番ホール右側の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
- パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	390	394	356	157	486	157	363	509	314	3126
BクラスYards	420	420	435	194	518	182	390	558	343	3460
Par	4	4	4	3	5	3	4	5	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
512	390	374	160	384	180	377	419	500	3296	6422
544	434	405	170	400	220	400	430	528	3531	6991
5	4	4	3	4	3	4	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 :	}	カートに搭載されている無線及び放送にて通報する。
プレーの中断 :		
プレーの再開 :		

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 160 球を限度とする。

競技委員長 嶋田憲人